



設問ごとの満足度比較(全体)

設問	とても満足(5点)		やや満足(4点)		どちらでもない(3点)		やや不満(2点)		とても不満(1点)		合計件数	平均値 (5点満点中)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%			
大学全体	Q 4 大学の雰囲気	1,000	8.1	4,438	35.8	5,374	43.3	1,210	9.8	380	3.1	12,402	3.36
	Q 5 福大の学生であること	1,516	12.3	4,012	32.5	5,559	45.0	918	7.4	352	2.8	12,357	3.44
	計	2,516	10.2	8,450	34.1	10,933	44.2	2,128	8.6	732	3.0	24,759	3.40
施設・設備	Q 6 教室	891	7.2	4,007	32.3	4,709	38.0	2,395	19.3	404	3.3	12,406	3.21
	Q 7 図書館	1,038	8.4	3,522	28.4	5,294	42.7	2,132	17.2	407	3.3	12,393	3.21
	Q 8 情報処理施設	1,899	15.4	4,290	34.7	4,867	39.4	1,080	8.7	231	1.9	12,367	3.53
	Q 9 スポーツ施設	1,176	9.5	2,894	23.4	6,358	51.4	1,473	11.9	469	3.8	12,370	3.23
	Q10 福利厚生施設	1,074	8.7	3,497	28.3	4,854	39.3	2,409	19.5	519	4.2	12,353	3.18
	Q11 校地・校舎	1,046	8.5	3,320	26.8	5,198	42.0	2,131	17.2	671	5.4	12,366	3.16
計	7,124	9.6	21,530	29.0	31,280	42.1	11,620	15.6	2,701	3.6	74,255	3.25	
教職員	Q12 教員の授業・指導	437	3.5	2,865	23.1	6,339	51.2	2,229	18.0	522	4.2	12,392	3.04
	Q13 事務窓口の対応	695	5.6	2,164	17.5	5,950	48.1	2,285	18.5	1,268	10.3	12,362	2.90
	計	1,132	4.6	5,029	20.3	12,289	49.6	4,514	18.2	1,790	7.2	24,754	2.97
学生生活の支援	Q14 奨学金・貸付制度	1,104	9.0	2,276	18.5	7,981	64.7	740	6.0	231	1.9	12,332	3.27
	Q15 保健・健康管理	836	6.8	1,972	16.0	8,886	72.1	497	4.0	142	1.2	12,333	3.23
	Q16 学生相談	501	4.1	1,146	9.3	10,200	82.9	328	2.7	127	1.0	12,302	3.13
	計	2,441	6.6	5,394	14.6	27,067	73.2	1,565	4.2	500	1.4	36,967	3.21
教育システム	Q17 授業(科目・時間割)	453	3.7	2,632	21.2	5,979	48.3	2,754	22.2	570	4.6	12,388	2.97
	Q18 正課外教育	824	6.7	2,053	16.6	8,635	70.0	645	5.2	179	1.5	12,336	3.22
	Q19 就職・進路支援	616	5.0	2,056	16.7	8,535	69.2	891	7.2	235	1.9	12,333	3.16
	計	1,893	5.1	6,741	18.2	23,149	62.5	4,290	11.6	984	2.7	37,057	3.12

「学生中心の大学」として 学生の視点に立った教育改革を推進

福岡大学には多様な能力やさまざまな価値観を持った学生がいます。つまり学生の数だけ個性と可能性があるということです。

私たちは皆さんの個性や可能性を大切に、きめ細かな教育・指導を行うためには、学生の立場に立ち、

学生を中心に据えた大学づくりが必要だと考えています。

そのためのステップとして皆さんが今、福岡大学に対してなにを考え、なにを望んでいるかを知るために大学評価アンケートを実施しています。

平成13年度の「授業編」に続き、平成14年度に実施したのは「教育環境編」。

その分析結果と今後の対応について、お知らせします。



全学部学生から

6割の回収率！

本学に対する

思いの深さに感動

「大学評価アンケート(教育環境編)」は昨年9月から10月にかけて全学部学生を対象に実施しました。アンケートは教育環境について精神的環境・物的環境・人的環境・生活的环境・学習的環境の5つの側面をそれぞれ「大学全体」「大学の施設・設備」「教職員」「学生生活の支援」「大学の教育システム」の5項目に別れて5段階評価で満足度を答える16の設問と、改善を望む項目に関して、選択肢を選ぶ12の設問および自由記述の形式で行いました。その結果、13,064枚のアンケートを回収。回収率6割強という素晴らしい数字に、皆さんの福岡大学に対する熱い思いを感じました。

以下、分析結果と今後の取り組みについて報告します。

分析編

福大の雰囲気、
福大生であることに
高い満足率

まず始めに、精神的環境として大学全体の満足率(とても満足とやや満足)を足したものを示す数字は44.3%(Q4大学の雰囲気とQ5福大の学生であること)と、アンケートの項目で情報処理施設に次ぎ高いものとなりました。しかも精神的環境としての満足率は1年次生と4年次生が高く、中でも4年次生がトップ(Q4大学の雰囲気47.5%とQ5福大の学生であること48.3%)。これは1年次生の時に感じた満足度が2・3年次生でやや落ちるものの、福大のいろいろな面を知り、教員や学生たちとの交流が深まるにつれて「やっぱりいい大学だね」という気持ちになっているのかも。少し自慢したい数字です。

問われる

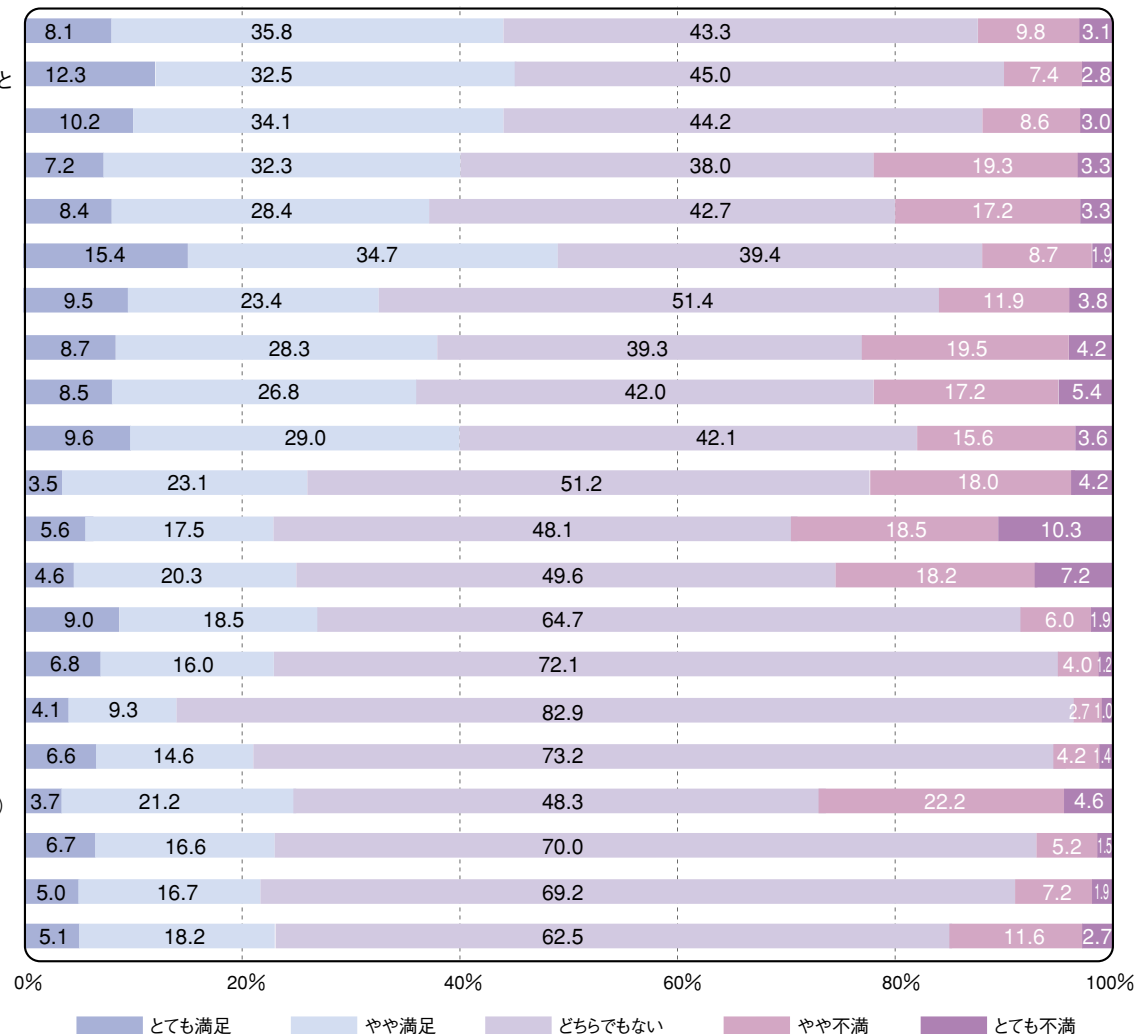
人的環境の改善

人的環境として教職員への満足率(Q12教員の授業・指導とQ13事務窓口の対応)を示す数字は24.9%と厳しい評価となりました。分けてみると教員の授業・指導は26.6%、事務窓口の対応は23.1%。学生の皆さんの日常生活・教育環境に根幹的な関わりを持つ事項が低いことは大きな問題です。特に事務窓口の対応は、1年次から4年次にかけて学年ごとに満足率が下がっています。学年が進み、事務窓口との接触が増えるにつれて不満

が募るということかも知れませんが、FD推進委員会ではこれらの評価を厳粛に受けとめ、直ちに取り組み施策を練りました。それについては18・19頁で詳しく報告していますのでぜひご覧ください。

具体的改善点では
空調や食堂などに
不満が

次に具体的な改善点について、3,000人以上の皆さんが改善を望んでいる項目を挙げてみます。「教室」関係では空調と机・イス。特に空調では4,629人が不満を訴えています。「図書館」では閲覧室・自習室、「福利厚生」では食堂と休憩室・ラウンジが挙げられました。また、「校地・校舎」では、学生駐車場、駐輪場、トイレ、エレベーター・エスカレーターなどです。その他1,000人以上が改善してほしいとしている項目は32項目にも及びました。現在の学生は、大学の中で自分の居場所の確保に悩んでいるという指摘もよく聞きます。学生関係の施設・設備の整備には、経済的な観点のみならず、学生の立場に立った教育的な観点からの改善・充実が必要だと痛感しています。これらの具体的な改善項目についても取り組み施策を検討しました。



取り組み編

カリキュラムの見直しなど、授業への不満解消を積極的に



皆さんの意見
魅力ある授業をもっと増やしてほしい。内容が古いものがある。

私たちの取り組み

確かに授業内容が時代に合わなかったり改善されていなかった点もありました。これからは教員全員が授業内容、試験問題、学生の理解度、さらにカリキュラムの目的の達成度などを継続的に把握して授業に反映していきます。また、学部・学科がどのような人材を育てたいのか、そのためにどんなカリキュラムを組んでいるのかを皆さんに「学修ガイド」などできちんと説明していきます。同時にシラバスの読みやすさなども工夫したいと思います。

具体的な改善点についてもスピーディーに対応

皆さんの意見
ここを直してほしい、こんなものが欲しい。

私たちの取り組み

皆さんから具体的な指摘があった改善点について対応策を協議し、実現可能なものから実施するようにしました。そのような取り組みの概要を左表にまとめています。

学生中心の大学へ
これからも
更なる活動を

今回の「大学評価アンケート(教育環境編)」は実に多岐にわたって、現在の皆さんの気持ち

- 皆さんの意見
- ① 必修科目の曜日・時限が偏りすぎている。
 - ② 教職課程などの科目が学部の必修科目と重複したり、5時限目に集中しすぎている。
 - ③ 授業時間の短縮を。

私たちの取り組み

①については各学部・学科・年次によって必修科目などのバランスがとれるように検討します。
②については、授業時間割は、まず卒業に係わる学部・学科の科目を編成し、その後、教職課程等の科目を編成することになります。その際、全学的に開講する教職課程科目はできるだけ重複を避けるように時間割を編成するため、4・5時限目が多くなることを理解してください。ただし重複しても、卒業までに取得できるように配慮しています。
③については確かに90分授業では集中力が途切れることもあると思います。しかし60分授業制はカリキュラムなどの大幅な見直しが必要で、まずは教員が授業に工夫をこらし、内容を改善して90分を長いと感じさせない授業にしていきたいと思えます。

その他、さまざまな意見がありました。私たちは「授業の根幹は、教員の「熱意」と学生の「興味」との結合にある」という考えのもと、その一つひとつに検討を重ねていきたいと思えます。



を知ることができました。その分析をさらに詳細に行い、一つひとつを真摯に受け止め、対応策を考えていきたいと思えます。「学生中心の大学」を私たちは基本方針として掲げていますが、それは決して「学生のわがままを聞く」「学生の言うがままになる」という意味ではありません。多様な意見を率直に聞いたうえで、是非、是非として皆さんに説明し、あるいは理解してもらいます。私たちの活動は、今の

意見箱を設置。
学生の気持ちに
立った窓口業務を



皆さんの意見
事務、特に窓口対応に不満。

私たちの取り組み

窓口の対応によって、皆さんを励ますことにも意欲を低下させることにもなりません。事務職員はアドバイザーとしての役割を果たすと同時に、学生の皆さんを適切に指導していくために教員などとの連携も必要でしょう。しかし、なにより日常の窓口業務の改善を当面の課題とし、私たちは「窓口対応の心得」を作成しました。その中にはこんな項目もあります。

● 学生には思いやりのある丁寧な言葉をかけ、学生が何度も気軽に窓口を訪ね、相談できる雰囲気づくりを心掛けます。
● 学生との対応では、相手の話を十分に聴くよう心掛けます。
また、各窓口の目立つ場所に意見箱を設け、皆さんの意見(良い点・悪い点)を聴くようにします。さらにその意見に関する適切な対応を協議し、問題についてはスピーディーに改善するようにします。その結果を皆さんに掲示などでお知らせします。

皆さんが「なんで？」と疑問に思えることでも、皆さんの将来やひとりの人間としての在り方を踏まえたうえでのことなのです。これからも私たちは「大学評価アンケート」を定期的に行っていくと思えます。
主役はあなたです。福大生のあなたが、これからの福岡大学をより魅力的に変えていくのです。

こんな意見もありました

GOOD!

- 「福岡大学に入学して本当に良かったと思っています」
- 「福岡大学は他の大学よりも学生生活を楽しめる場所だと思う」
- 「いい大学なので、これからも大学に係わるすべての人が協調性をもって、明るい大学をつくってほしい」
- 「とてもよい環境で勉強できていると思う」

BAD!

- 「歩きタバコや喫煙場所以外のタバコはやめよう」
- 「バスを増便してほしい」
- 「福大前バス停側の道路をもっと広くしてほしい」
- 「1クラスの受講人数が多すぎる科目もある」



分析結果を踏まえて行った改善に向けての具体的な取り組み

改善要求事項	対応概要
空調	冷暖房運用基準を設け、気候条件により柔軟に対応していることを周知します。平成15年度からA棟の冷房の立ち上がりを早くします。
トイレ	トイレについては、施設の老朽化および女子学生の増加を踏まえ、平成2年から年次計画により改善を進めています。
食堂	メニュー、価格、衛生面、従業員の対応、施設などについて、学生総務委員会の意見も聴きながら改善していきます。
学生駐車場・駐輪場	国際交流会館下駐車場の利用を促していきます。今後、工学部第三食堂および有朋会館下の駐輪場を整備し、収容台数の拡大をはかります。
休憩室・ラウンジ	理系キャンパスゾーンの中長期施設整備計画と連動して、環境整備の検討を進めます。
自動販売機・バス	理系キャンパスゾーンに自動販売機を増設しました。バスの随時便の増発などを西鉄側に要望しました。
授業・教室	登録単位数、科目登録、仮受講、シラバス、授業・休み時間、カリキュラム、時間割、教育施設・設備などに分け、教務委員会を中心に検討します。
閲覧室・自習室	平成15年4月から、中央図書館では日曜・祝日の開館を始めました。館内での私語に対しては、利用者マナー改善のPRに努めます。また、平成12年度から実施している意見箱も、こまめに回収・回答を行います。
事務窓口の対応	事務局長が窓口業務をもつ部署の役職者を臨時招集し、改善を指示しました。さらに、「窓口対応の基本姿勢」を作成し、実践していきます。
情報処理関連施設	インターネットへのアクセス速度については、平成14年12月に回線の増強をはかり、改善しました。パソコン台数の不足については、稼働率の低い文系センター棟3階の実習室の利用を促していきます。
正課外教育	エクステンションセンター独自の意見箱を設置し、今後の運営に反映します。
就職・進路支援	キャリア形成に関する低学年次からの導入教育を促進するとともに、進路相談員を配置し、より一層の相談業務の充実をはかります。
喫煙・禁煙	学内における望ましい「喫煙のあり方」について基本方針を定め、対応をはかります。

FD推進委員会とは

Faculty Development:ファカルティ・ディベロップメント、略してFD。教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組みの総称。そのFD活動を推進している全学的組織がFD推進委員会。福岡大学は「学生中心の大学」として学生の視点に立った教育改革を推進しており、FD推進委員会が実施した「大学評価アンケート」もその一環です。さらに平成15年度からは「啓蒙から実行へ」をスローガンに、きめ細かな教育・指導に一層取り組んでいきます。



FD推進委員会委員長
副委員長 河井田 研朗

授業の根幹は、教員の「熱意」と学生の「興味」との結合にある。

昨年実施した「大学評価アンケート(教育環境編)」の分析を踏まえ、直ちにFD推進委員会を中心に全学部および関係するすべての部門が取り組み策を検討し、一部はすでに実施に踏み切っています。ここでは満足度が低かった「教員の授業・指導」「授業(科目・時間割)」「事務窓口の対応」などについてお知らせします。